

令和4年度
進路通信3年生版
羅針盤第3号



令和4年6月15日(水)
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

先輩に聞く、1学期の共通テスト対策

3年のみなさん、コロナも徐々に落ち着いてきて、平常化が近いですね。皆さんが大学に進学する頃には、充実したキャンパスライフが送れそうです。73期チューターのK.H君(慶應義塾大学2年)の言葉です。

「絶対に行きたい大学を目指すこと。行けそうな大学だとモチベーションが続かない上に、入学してからあの大学に行きたかったと後悔します。たとえ模試でE判定だったとしても最後まで行きたい大学を目指すこと。また仮に行きたい大学が不合格だったとしても受験勉強を本気でやった達成感を味わえます!」と応援メッセージを書いてくれました。しっかりとペースを作り、計画的に集中できた人が第一志望大学に合格できます。

6月1日(水)のベネッセマーク模試は自己採点や復習はしましたか?7月13日(水)14日(木)にはベネッセ記述模試が行われます(なお2つの模試を受験するとドッキングして総合的に判定がでます)。当面の小目標を7月模試に設定して、期末テストを活用しながら、天王山の夏に向かって行きましょう。受験は始まったばかり。まだまだこれからです。

志望校に見事に合格した先輩から、1学期にやるべき共通テスト対策のアドバイスをいただいたので、是非参考にしてください。キーワードはずばり「**基礎固め**」です。

「共通テストでは、基礎ができてないと点数を落とすので、高1と高2までの内容の復習を忘れずに行いましょう。」

「学校の授業の予習・復習・課題を確実にやり、受験勉強に通用する基本的な土台を作りましょう。あとは英単語や英熟語、古文単語、漢文の句法などの基本的な暗記は早めに取り組むことが大事です。」

「教科書の基本を押さえて基礎力をつけるべきです。数学なら公式の理解、英語なら英単語や文法、国語は古典単語や文法・句法、理科や社会は基礎知識。焦らず着実に基礎力をつけてから問題を解いて応用力をつけるべきです。」

「1学期は模試を解いたり、期末テストがあったりと忙しいのですが、返却されたら、模試やテストで自分が間違えた問題をそのままにせず、早めに直し直しを行い、同じ間違いを二度としないように意識しましょう。苦手分野を知り対策をすることが大事です。」

「毎日の生活リズムを同じにして、勉強する時間を固定しました。例えば、電車の中ではスマホで英語の長文や英単語を聴く。自習室では英文法をまずやるなどです。」

「スタディサプリは基礎から応用までたくさんの講座があります。長い休業期間にスタサプを聴講しては復習し、実力を伸ばしました。苦手教科は高1まで戻り、復習しました。」

先輩に聞く共通テスト英数国化日世の効果的学習法

【英語編】

「毎日英語に触れる。1日2題長文問題に取り組み、答え合わせの後は、本文を音読。リスニング対策にCDを1.5倍速で聴いて耳を慣らしました。音読、シャドーイングも毎日行いました。」

「英語が苦手な人は、とにかく単語力だと思います。単語がわからないと文章が頭に入ってきてません。単語とイディオムを固めましょう。空き時間には単語帳を読むなど、日頃の積み重ねで結果は大きく変わります。」

「試験時間マイナス10分で過去問や予想問題を解くことが効果的でした。共通テストでは、大量の英文を素早く処理することを求められます。数をこなすうちに解くスピードが上がります。」

「単語集や文法の参考書をこまめに見返し、失点のないように努力しました。」
「共通テスト対策の問題集を解き、間違えた問題は二度と間違えないように対策しました。正解した問題も解説を読んで、正しく理解できているか確認しました。」

「文法や単語を早めにやっておくことが大事だと思います。」

【数学編】

「苦手な分野に関しては、教科書レベルの問題集を解いて弱点を補強しました。繰り返し解くことで、処理速度も上がるし、効率が良いです。」

「模試などで間違えた問題をやり直しノートにまとめましょう。ただまとめるだけではなく、なぜ間違えたのか、自分なりの理由も書いて、次に同じような問題を解くときに間違えないようにしました。」

「共通テストの形式にこだわらず、誘導に乗らなくても自力で解けるようになるのが大事。自力で解ける力を養うには、学校指定の問題集で十分なので、たくさん解こう。」

「数学は解答のプロセスの暗記ではなく、なぜその手段を使うのかとかなぜその式の変形を行うのかとかなぜを考えました。オススメは東進ブックス『松田の数学ⅠAⅡB典型問題TYPE100』です。」

「苦手な分野は、本質を理解するように勉強しました。」

「数学は自分の弱点を埋めることが大事です。苦手分野は、基礎問題から直し直しました。」

【国語編】

「現代文は参考書などで自分にあった解き方を見つけ、実際の問題で活用する練習をしましょう。オススメは河合出版『入試現代文へのアクセス 基本編/発展編/完成編』です。古文は文法や単語、古典特有の言い回しなどを中心に学習すると、ある程度点数を取れると思います。」

「夏までに基本事項である古文単語や文法、漢文の句型の暗記を完璧にする。」

「問題の答えの根拠と答えでない根拠を徹底的に探し出して、吟味するという学習法。やっていくうちに根拠を探すのに慣れて素早く答えを導くことができるようになります。」

「古文は基本的な古文単語や文法が分かれば、大体の問題は解けます。」

【化学編】

「苦手な化学基礎の基礎固めとして、まずは知識や計算方法等を身につけるため簡単な問題を繰り返し解きました。国立文系で理科基礎にあまり時間がとれないこともあり、授業の復習と土日に30分で問題を解いて間違えたところを復習したり、すき間時間を利用しました。」

「有機化学は、内容が繋がっているの理解して暗記が大事です。高分子などと合わせると量が多いですが、構造から起こりそうな反応をパターンとして覚えると記憶が定着しやすいです。これから学習することになる無機化学はそれぞれの物質の性質や反応式を覚えましょう。ひたすら反復学習が大事です。模試などで共通テスト形式の問題に慣れることも必要です。」

【日本史・世界史編】

「世界史は楽しいと思うところから全てが始まると思います。タテで流れをつかむだけでなく、ヨコつまりヨーロッパではこんな出来事がおきたけど、中国では〇王朝とつながっていくと幅が広がります。それと場所やおおまかな年号を覚えると得点がアップします。」

「日本史は、時代ごとの特徴をつかみ、過去の出来事の経緯を理解することが大事です。歴史の流れを理解したあとに人物や制度の名前を覚えるようにしました。社会科全般に言えることですが、多くの事を学ぶので、定期テストなどを活用して着実に知識を身につけるようにしました。」

「1週間単位で、目標を決めて今週はp〇〇からp〇〇まで完璧にする。そして次の週はp〇〇からp〇〇まで完璧にする。これを繰り返すと極められます。」



今年のオープンキャンパスはリアルと動画で！

例年オープンキャンパスは、気になる大学のことがわかる絶好の機会です。6月から夏休みにかけて、各大学では、オープンキャンパスが必ず開催されますが、是非参加しましょう。今年もコロナ感染予防のために動画での開催になるところもありますが、できれば実際に大学に足を運んでほしいので、大学のホームページを見て参加してみましょう。そして学生の雰囲気やキャンパスの様子を肌で感じてみましょう。たくさんある大学の中から、自分が4年間通い、母校になる大学を探すためにも、動画で見たり、実際に足を運んで、違いを比べて学校選びをする必要があります。

以下に動画のオープンキャンパスではどんなことが紹介されているのかをまとめてみました。

①学校の説明

授業・カリキュラムの内容や学部・学科の説明、卒業後の進路、学費、奨学金など、詳しく教えてもらえます。

②キャンパス内見学

キャンパスや普段・学生たちが授業を受けている教室の雰囲気、自慢の設備などをキャンパスツアーのような感じで見ることができます。学生食堂・カフェテリアや実習室、図書館など、学生生活に欠かせない施設を見てみましょう。

③学食体験

これは動画では体験できないので、実際に足を運んだ時に体験しましょう。大学生になると学食で食事するケースが多いので、学生気分も味わうことができます。

④体験授業&実習

模擬授業を紹介している動画もあります。授業の分野や内容が自分に合っているかなど、自分が実際にそこで学ぶことをイメージしながら見極めましょう。

ゼミや研究室など、同じ学部学科でも同じような興味・関心を持つ学生が教授の下に集まり、研究していくのも大学の面白いところです。そのあたりも動画やホームページで確認してください。

⑤学園祭

学校の一大イベントである学園祭は学生の活動を間近で見ることができるチャンスです。コロナ感染予防で中止でなければ、高校生でも見学できますし、大学生生活の雰囲気を体験することができます。

●学校見学のここをチェックしましょう

チェック内容	評価				
キャンパスや学生の雰囲気は自分に合っているか	1	2	3	4	5
学校周辺の雰囲気はどうか	1	2	3	4	5
学びたい学部・学科があるか	1	2	3	4	5
模擬授業・体験授業は興味ある内容だったか	1	2	3	4	5
図書館などの施設設備は充実しているか	1	2	3	4	5
資格取得のサポート体制はどうか	1	2	3	4	5
就職状況・就職サポート体制はどうか	1	2	3	4	5
留学制度や海外研修はあるか	1	2	3	4	5
奨学金・特待生制度はあるか	1	2	3	4	5
学食は充実しているか	1	2	3	4	5

先輩からのアドバイス～天王山の夏を迎える前に～ 東京都立大学健康福祉学部（74期生 H・H君）

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A 夏休み後半あたりから演習に入れると差が付くと思います。6～7月までは自分は、とにかく予習より復習を大切にしていました。勉強時間にこだわらず、自分にあったペースを見つけられるのも今のうちが良いと思います。

Q 共通テスト対策で今の時期にやっておけば良かったことは何でしょうか？

A 共通テストは特殊な出題形式の教科が多く、本来なら解ける問題を落とすことも多かったのですが、本当に解き直して克服すべき単元を見極めるのに時間がかかりました。模試などで早い内から共通テスト形式に慣れるのが一番です。初めは点数にこだわらず、自分の伸びしろを知るチャンスと思って解いてみましょう。

東京学芸大学教育学部 （74期生 I.A君）

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A 文系なら英国社、理系なら英数理の基礎を固めることが大事です。夏休みは応用力養成や国公立志望の人はサブ科目に取りかかって、得意科目を伸ばしましょう。合格するためには妥協しないで、常にやれるだけのことを最大限やりましょう。

Q 共通テスト対策で今の時期にやっておけば良かったことは何でしょうか？

A センター試験の過去問を解くことです。完成した分野や単元を大問ごとにやるのもOKです。



学習院大学経済学部（74期生 M.Tさん）

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A 本格的に受験勉強を進めていく中で、一つでも良いのでどれか息抜きになる教科や分野を作ってください。それがあがることで勉強効率が上がります。私は英語の長文が苦手でしんどかったのですが、その後好きな数学の問題を解くことで、下がっていたモチベーションが上がりました。そして効率のよい勉強サイクルを作りました。



中央大学理工学部（74期生 H.H君）

Q 6月から7月の過ごし方や心構えを教えてください。

A この時期は基礎固めが大事で苦手科目の克服をしると言いますが、その通りです。自分の場合は、英語と物理でした。この時期に基礎を固めないと後々過去問を解く時間がなくなるからです。夏以降過去問などの問題演習に入るためにも、夏前の基礎固めはとても大事です。これは理系向けのアドバイスですが、夏休み前に「芝浦工業大学」の過去問を解いて絶望を味わう（笑）と良いでしょう。

Q 共通テスト対策で今の時期にやっておけば良かったことは何でしょうか？

やってよかったのは、英語です。英語は中一のころから苦手で、GTECでビリから4番目をとったこともあります。とにかくリスニングや長文に慣れるつもりで毎日勉強しました。Youtubeで英語を聴いたり、学校の英語の授業も真面目に取り組みました。その結果共通テストで苦手の英語が80点を超え、「英語は慣れ大切」です。